

# ピースコンサートinひらかた ～笑顔いっぱい♪平和だから～ 7月2日



今年のはるタイムの合間に、日本ユニセフ協会・大阪支部の片山はるみさんから、戦争や災害から子どもたちを守るほか、学校を作ったり教科書を届けたり、教育の支援も行うユニセフのとりくみについてお話がありました。世界には文字が読めない子どもがたくさんいて、保健センターに薬をもらいに行っても、持って帰る薬もわからないんです。命にも関わって「くるんです」。5歳までに亡くなっている世界の子どもがこの5年間に120万人も減っている報告もあり、生協の募金が役立っていることが実感できました。

だしぼん酢 (ゆず果汁入)  
360ml×2  
9月3回  
298円



たごを、ぼん酢に3時間漬けて食べるの。孫がおばあちゃんたちの漬物おいしいって言うてくれるねん。生協のぼん酢は、酸味が少なく、いろいろな料理に使えるよ。



平野支所 担当  
川端 季典



## 組合員活動のコーナー

2010年度、組合員活動は「食」「平和」「環境」「くらし」の4つの柱にそって各地域で多彩なとりくみをしていきます。このコーナーではその様子を紹介していきます。

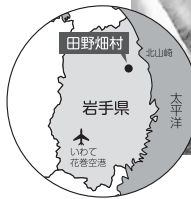
和太鼓の響きで開会したピースコンサート。工夫をこらしたピースメッセージや華やかなフラダンスの即興レッスン

ンなど、枚方組合員会館の会場に笑顔があふれていました。参加者からは平和を考えたきっかけを、音楽(コンサート)という形で表せるんだと気づきました。それぞれの得意分野で力をあわせて活動すればいいですね。まず何でも参加してみよう、少しでも役立てたい。

## え 良えと聞いた その5

「おばあちゃんたちの漬物おいしい」  
このコーナーでは、組合員さんから配送や電話で伺った、商品にまつわるお話を紹介します。

# 岩手鴨鍋セット



絶景のリアス式海岸と山。手付かずの自然、その反面、雇用が少ない田野畑村。何とか雇用を作ろうと村と㈱アマタケが共同出資をして、㈱甘竹田野畑を設立。1988年に合鴨の肥育から解体加工までの一貫生産を始めました。

好奇心旺盛なのに、臆病な合鴨。オスは「ギー」、メスは「グアグア」と鳴きます



(株)甘竹田野畑  
村田光輝さん

大阪から、いわて花巻空港まで約1時間半、空港から車で3時間半掛けて到着する、「岩手鴨鍋セット」の産地、岩手県田野畑村。ここは、合鴨のふるさとイギリスのリンカーン郡と似て、海からの風もあたり、夏でも暑くなりすぎず、冬は外から立ち入ることができない程の雪に覆われます。

団地の間を移動する車は、浄化槽を通ったりして、必ず消毒をします。手を抜くと鴨を殺すことになる。口をすっばくして「病気を出したらおしまいだ」と言い、若い人たちに感染予防することを浸透させています」と村田光輝さん。一貫生産を始めた当時の様子を語ってくれました。

運動会が終わったとたん急に寒くなり、冷凍庫にストックしておいた岩手鴨鍋セットが役立ちました。お決まりですが、我が家では、冷凍うどんと一緒に頂きます。みんな大好きです。

旭区・岸本直子さんから昨年、はるタイムの特集に寄せられたおたより

合鴨の肥育担当10年目の佐藤博之さんに伺いました。「高校卒業後、地元から離れて働いていたんです。でも海が好きで、海のある地元に戻りたかったんですね。新しい仕事で不安だったけど、この仕事があったから帰ってこれました。この仕事は生きもの相手に大変だけれど仕事を覚えていくと、楽しいんです。卵から雛へと成長を見て、大きくなると、うれしい。逆に、小さいと何が悪かったか考えてしまふ。毎朝、もみまき、えさやり(魚粉や穀物)や水の手エックをします。朝、合鴨が元気かどうかって？いつも元気ですよ。元気がないと大変なことですよ。佐藤さんは二児のお父さんでもあり、田野畑村で子どもたちは育っています。

岩手鴨鍋セット  
280g+ スープ50g×2  
9月3回  
680円

